

## 2014年 日本聖公会人権セミナーのご案内

### テーマ：キリスト教信仰と人権

「正義を洪水のように、恵みの業を大河のように、尽きることなく流れさせよ」

(アモス5:24)

教会の中では、人権に関わる問題は信仰的課題というよりも社会的、政治的問題であるとの理解が多いのではないのでしょうか。「あなたがたによく言うておく。わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわちわたしにしたのである。」(マタイ25:40)と言われた主イエスに従って、社会的、政治的な問題のために傷ついた人々、苦しんでいる人々、「小さくされた人々」に仕えることは、信仰の基本的な課題であり、全聖公会中央協議会(ACC)も「宣教の五つの指針」の一つに「不正な社会構造の変革を追求すること」を挙げています。

この度人権セミナーを開催するに当たり、人権が大きく損なわれている様々な問題に対して、私たちがより関心を深めることの大切さと共に、この基本的な問題「キリスト教信仰と人権」について今一度しっかりと学びたいと思います。基調講演を関田寛雄先生をお願いいたしました。人権についての聖書のメッセージと、そのみ言葉に根ざした人権に関わる実践についてのお話を伺います。プログラムは別紙の通りですが、基調講演やフィールドワークなどの部分参加も歓迎します。皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。

#### 記

日程：2014年10月28日(火)～30日(木)

会場：横浜教区 横浜聖アンデレ教会

〒221-0852 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢下町14-57 TEL045-321-4989 FAX045-321-4992

定員：50人 ※部分参加を含めて、多くの方々のご参加をお待ちしております。

参加費：全日程参加：4,000円

部分参加：1,000円(資料代)

食事：夕食(28日・29日)各1,500円

※フィールドワークは人数調整を行うため第1第2希望を申込み用紙にご記入下さい。ご希望に添えない場合はご了承下さい。尚、フィールドワークの際における昼食は、各自自己負担となります。

※フィールドワーク時の講師に加えて、横浜教区のグループ担当者が各々配置されます。

※入管面会支援をご希望の方は、身分証明書(運転免許証・保険証・パスポートなど)を必ずお持ち下さい。

●申し込み締め切り：9月15日(別紙申込み用紙に必要事項をご記入いただき管区へ郵送またはFAX下さい。)

●申し込み先：日本聖公会管区事務所

〒162-0805 東京都新宿区矢来町65 TEL03-5228-3171 FAX03-5228-3175

●その他 ※宿泊についてはホテルパック等、各自安価な方法でご計画ください。(横浜、新横浜など)

※各自、祈祷書、聖書をご持参くださるようお願い致します。

※交通費について、45,000円を超える方には管区より補助します。

※問い合わせは、管区事務所または、横浜教区教務所 045-321-4988 にお願ひ致します。

〈講師紹介〉

#### 関田寛雄氏（基調講演「キリスト教信仰と人権」）

1928年、北九州小倉にて生まれ、青山学院大学文学部神学科を卒業、1954年日本キリスト教団牧師となる。川崎市に開拓伝道に入り、桜本・戸手の二教会を設立。その間、青山学院大学教員として、神学及びキリスト教教育に携わり、1997年定年退職。聖公会神学院においては、16年間、非常勤講師として、出講、説教及び、説教演習を担当。現在は日本キリスト教団神奈川教区巡回教師。

#### 佐藤直子氏（講演会と東京入国管理局（品川区）面会フィールドワーク）

1989年、難民船の西日本への漂着をめぐる排外キャンペーンのさなかに、「難民・移住労働者問題キリスト教連絡会」（通称 難キ連）が、この問題の取り組みを市民レベルだけでなく、教会に広げ深めたいと願って発足し、事務局長に2001年就任され現在に至る。2009年から、難キ連が行っている「東日本入国管理センター」（茨城県牛久市）での面会支援に横浜教区社会委員会が参加、2013年からは東京入国管理局（品川）での面会支援に参加し、啓発のための講演会と共にご指導をいただいている。

#### 後藤<sup>あまね</sup>周氏（横浜市、関東大震災慰霊碑等フィールドワーク）

NPO法人在日外国人教育生活相談センター「信愛塾」理事。元中学校教員。横浜の朝鮮人、中国人への迫害と虐殺について調査、学習を続け、中高生や市民向けの震災学習やフィールドワークを実施している。また自ら「関東大震災研究ノート」を発行している。

#### 三浦<sup>ともひさ</sup>知久氏（川崎市、桜本フィールドワーク）

社会福祉法人青丘社 理事。川崎市ふれあい館館長。ボランティア時代を含めて、39年在職されている。2010年4月に館長に就任し現在に至る。報告書として、「キリスト教社会福祉研究 45号「在日コリアンコミュニティーと地域社会」がある。

#### 桜井武磨氏（横浜市、寿町フィールドワーク）

NPO法人「さなぎ達」理事・事務局長、「さなぎ達」は横浜市寿地区の路上生活者及び路上生活に至る恐れのある人々が自ら自立に向かいやすい環境を整える「自立自援」を目的として活動。横浜教区では10年前から「寿町プロジェクト」としてさなぎ食堂や炊き出しのための「お米支援」と衣類、日用品の支援を継続している。昨年の社会事業の日には全国から献金をいただきました。感謝。

#### 村井恵子氏（国連女性地位委員会参加報告）

前日本聖公会婦人会会長、今年の国連女性地位委員会に日本聖公会を代表して、篠田茜氏（京都教区）と共に出席された。横浜聖アンデレ教会信徒。

#### ドキュメンタリー映画上映 映画「SAYAMA」みえない手錠をはずすまで

「狭山事件」の石川一雄さんご夫妻に寄り添った3年間のドキュメンタリー。50年間、殺人犯というレッテルを背負いながら、泣き笑い怒り、日々を凜として生き抜く夫婦の物語。

2014 人権セミナー プログラム

	10月28日(火)	10月29日(水)	10月30日(木)
08:30		朝の礼拝	朝の礼拝
09:00		<b>第③セッション</b> 講演:佐藤直子氏 「互いに手を取り合って」～難民支援について～	<b>第⑥セッション</b> ふりかえり 全体を振り返って:関田先生からコメント
10:30		<b>第④セッション・フィールドワーク(4つのグループに分かれます)</b> <b>①グループ:桜井氏 横浜市内寿町「さなぎ達」</b> 教会→日本における三大寄せ場の一つである、日雇い労働者・ホームレスの方々が生活する寿町を歩きながら、高齢化などの今ある生活や課題を学びます。 <b>②グループ:佐藤氏 面会支援</b> 教会にて事前説明→東京都品川区「東京入国管理局」へ管理局内に收容されている外国人の方の面会・聞き取りを、経験者と一緒のチーム(2～3人)に分かれて行います。 <b>③グループ:後藤氏 横浜市内 関東大震災における朝鮮人虐殺現場と慰霊碑を訪ねる。</b> 教会→三ツ沢周辺・横浜市内に散在する関東大震災時に、朝鮮人虐殺現場や慰霊碑を地下鉄・バスを利用して巡ります。 <b>④グループ:三浦氏 川崎市内桜本「ふれあい館」</b> 教会→在日韓国・朝鮮人の方々の集う「ふれあい館」を起点として、在日韓国・朝鮮人の町である川崎市桜本を歩きながら学びます。在日大韓基督教会の宣教の歴史など、大阪の生野センターとは、また違った学びが学びが得られるかと思います。	閉会聖餐式 司式:三鍋主教 説教:武藤主教
11:00			
12:00			
14:00	受付		
14:30	開会礼拝  オリエンテーション		
15:00	<b>第①セッション</b> 基調講演:関田寛雄氏 「キリスト教信仰と人権」		
17:00	夕の礼拝	夕の礼拝	
17:30	夕食	夕食	
18:30	<b>第②セッション</b> 映画上映「SAYAMA」 みえない手錠をはずすまで 「狭山事件 石川さんご夫妻の3年間に寄り添われて」	<b>第⑤セッション</b> 村井恵子氏「国連女性地位委員会」報告 フィールドワークの各グループ振り返り 交流会	
19:30			
21:00	1日目終了	2日目終了	

※予定は都合により変更する場合があります。

